



2014年6月5日

**韓国特許法院が三菱化学と物質・材料研究機構の赤色蛍光体特許に対する
米国 Intematix 社の請求を退け、有効性を認める判決を下す**

三菱化学株式会社
独立行政法人物質・材料研究機構

三菱化学株式会社(本社：東京都千代田区、社長：石塚 博昭、以下「MCC」)と独立行政法人物質・材料研究機構(茨城県つくば市、理事長：潮田資勝、以下「NIMS」)は、MCCとNIMSが共有する、LED用として広く用いられる赤色蛍光体に関する特許(大韓民国特許第816693号、以下「本特許」(注1))について、2013年5月30日付で米国のIntematix Corporation(以下「Intematix社」)が韓国特許法院に提起していた審決取消訴訟における請求を同法院が全面的に退け、2014年6月3日付で本特許の有効性を認める判決を下したことをお知らせいたします。

Intematix社は、2012年9月7日付で韓国特許審判院に本特許の無効審判を請求しましたが、2013年4月30日付にて同院はこの請求を退け「特許は有効である」との判断(請求棄却審決)を下していました。Intematix社は、この審決を不服として審決取消訴訟を提起していましたが、今般、韓国特許法院においても原審決が支持され、本特許の有効性が改めて認められたものです。

なお、MCCは2011年12月20日付でIntematix社およびその韓国での販売代理店である株式会社GVPが本特許を侵害しているとして、ソウル中央地方法院に特許侵害訴訟を提起し、2013年2月5日付にてソウル中央地方法院はIntematix社等の製品による特許権侵害を認め、韓国への輸入および販売差し止めを命じる判決を下しています。(注2)

MCCおよびNIMSは、他社が自らの特許を侵害する製品を実施するようなことがあれば、これを看過することなく適正な対応を取る所存です。

(注 1)

大韓民国特許第 816693 号は、通称 CASN、SCASN と呼ばれる窒化物系の赤色蛍光体((Sr,Ca)AlSiN₃:Eu 等を基本組成とする蛍光体)およびそれを用いた LED、照明器具、画像表示装置等を広くカバーする基本特許です。韓国のほか、日本、米国、中国、台湾でも登録されています。

CASN および SCASN 蛍光体は、高い輝度と信頼性から LED 用として最も広く使用されている赤色蛍光体であり、MCC が製造販売している当該赤色蛍光体は、LED メーカー各社の皆様より多くの支持、評価を頂いています。MCC は、CASN および SCASN 蛍光体に関し、本件特許以外にも多数の関連特許を保有しております。

(注 2)

事件番号：2011 ガ合 138404

この特許侵害訴訟は現在控訴審の審理中です。

以上

本件に関するお問合せ先 株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 電話：03-6748-7140
--